

マンスリーサポーター

まるクルー 募集中！

10代が「夢中」を見つけられる 社会をひろげていきたい。

中高生の探究学習を応援する漫画「中高生の問い合わせストーリー」の制作や、高校生と大学生のボランティア合宿「ちょいワークキャンプ」「01 ワークキャンプ」、小学生の放課後プログラム「放課後たんけん」の企画・運営は、皆さまからのご支援を活用させていただいております。10代の「夢中」を応援する仲間になりませんか？

マンスリーサポーター

活動へのご支援を毎月定額寄付にて受け付けております
(1口 1,000円～自動引き落とし)。

まるクルー（マンスリーサポーター）の方には、四半期に一度のシーズンレポートと年間レポートをお送りいたします。

その都度、自由な
金額でのご寄付も
ありがとうございます。



気仙沼信用金庫 本店（店番 001）
普通預金 / 口座番号 0002218/
シヤ) マルオフィス

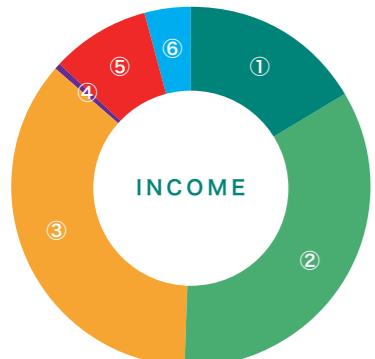
お振込者名の前に「キフ」とご明記ください。
例：キフケセンヌマタロウ



寄付ページは
こちら

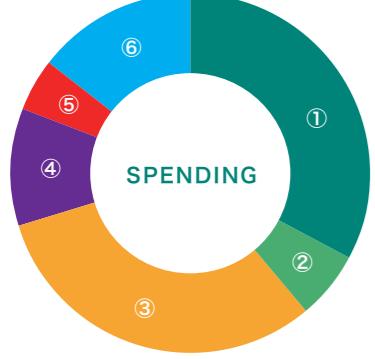


2024年度 収支報告



収入 総額
71,991,940円

① ご寄付・協賛 11,898,888円 (16.5%)
② 行政委託（探究学習支援に関する事業） 24,641,605円 (34.2%)
③ 行政委託（移住・定住支援に関する事業） 25,674,963円 (35.7%)
④ 事業収入 577,000円 (0.8%)
⑤ 助成金 6,200,000円 (8.6%)
⑥ その他 2,999,484円 (4.2%)



支出 総額
69,067,230円

① 事業費（中高生の学びチーム） 22,772,569円 (33.0%)
② 事業費（小学生の学びチーム） 4,098,526円 (5.9%)
③ 事業費（循環づくりチーム） 21,697,738円 (31.14%)
④ 企画室 7,428,804円 (10.8%)
⑤ エンゲージメント部 3,229,958円 (4.7%)
⑥ 管理費 9,839,635円 (14.2%)

WEB & SNS

まるオフィスの情報はこちらから！



団体情報 一般社団法人まるオフィス

設立：2015年（平成27年） 代表理事：加藤拓馬 スタッフ数：16名（常勤6名 / 非常勤8名 / インターン2名）※2025年10月1日現在

所在地：宮城県気仙沼市河原田2丁目1-4 お問合せ：info@maru-office.com 発行月：2025年10月 デザイン：memento mori 志田淳



一般社団法人まるオフィス

団体概要



宮城県気仙沼市で東日本大震災からの復興まちづくりをきっかけに生まれた、教育とまちづくりのNPO（非営利組織）です。主に10代の子どもや若者が、地域を舞台に思いっきり学べる仕掛けづくりに取り組んでいます。

VISION：目指す社会

10代が「夢中」を見つけられる社会

10年後からのメッセージ

この日本では、だれもが一度は10代のうちに「夢中」を経験しています。何かに取りつかれたように、自分の中から湧きあがる意志につき動かされ、行動し、探究しちゃうことです。学校を飛び出して地元を歩きまわったり、いろんな地域や国を飛びまわったりします。「夢中」を経験することで、将来の選択肢を広げ、わくわくしながら何度も選びとれるようになります。自ら命を断つ小中高生はいなくなり、世界に貢献しようとどーんと大きな夢を語る若者があちこちにあらわれました。

地方では、災害や仕組みの老朽化によって閉じる道を選ぶ自治体が出てきました。一方、10代の「夢中」を仕掛ける地域には絶えず人が出たり入ったりして、新しい企てがいつも起きていて、こういう元気な地域も津々浦々に広がっています。

令和17年5月30日

MISSION：果たす役割

地元の課題を学びに変える

地元まるまる 「学びの船」構想

「地元の課題を学びに変える」地域ぐるみの仕掛けを、一隻の船に見立てた気仙沼モデルとして、意志ある市町村へと広げていく

ワークキャンプ構想

ボランティア合宿「ワークキャンプ」を日本の高校生と大学生のあたりまえにする



事業紹介

気仙沼「学びの船」事業部

中高生の学びチーム

中高生の「探究的な学び」を応援する事業です。地元企業・行政・学校が連携して中高生の学びを支える「気仙沼学びの産官学コンソーシアム」の運営に携わっています。放課後に集い、一人ひとりが自分のテーマを探究し行動に移すプロジェクト探究クラブや地元の仕事を実践的に学べる機会などさまざまなプログラムを企画しています。

●探究学習支援
2024年度
〈中学校〉訪問回数：149回
放課後探究クラブ：市内全9校中9校全88回
〈小学校〉訪問回数：22回

2023年度
〈中学校〉訪問回数：121回
放課後探究クラブ：市内全10校中7校
〈小学校〉訪問回数：31回

2022年度
〈中学校〉訪問回数：165回
放課後探究クラブ：市内全10校中7校
〈小学校〉訪問回数：38回

●気仙沼学びの産官学コンソーシアム
2024年度
講演会参加者数：409名
実践型プログラム参加者数：のべ310名

2023年度
講演会参加者数：のべ771名
実践型プログラム参加者数：のべ339名

2022年度
講演会参加者数：のべ605名
実践型プログラム参加者数：のべ252名



小学生の放課後チーム

小学生の「放課後の体験」を応援する事業です。子どもたちが思いっきり体を動かし、地域に飛び出し五感を使って遊べる放課後プログラムを企画・運営しています。唐桑地域では、楽しく体を動かす「運動あそび」と、地域を探検し表現する「地域たんけん」の2つのプログラムを月3回実施。

「小学生の放課後に選択肢を」を合言葉に、他地区での活動サポートにも取り組んでいます。

●唐桑放課後たんけん（事業開始：2023年11月）
2024年度
実施回数：33回（月3回）
参加児童数：のべ1,157名（平均35名/回）
児童の参加満足度（満足している）：76.6%
保護者の満足度（満足している）：95.4%

2023年度
実施回数：14回（月3回）
参加児童数：のべ445名（平均31名/回）



循環づくりチーム

一人ひとりのライフスタイルに合わせて、気仙沼との関わり方を提案し、地域の内外との「人の循環」をつくる事業です。「気仙沼市移住・定住支援センターMINATO」の運営を通して、移住だけでなく、多拠点居住や副業など新しい暮らし方の選択肢も案内しています。

●気仙沼市移住・定住支援センターMINATO
2024年度
窓口相談件数：384件
移住者数：33名
お試し移住プログラム利用者数：63名

2023年度
窓口相談件数：369件
移住者数：40名
お試し移住プログラム利用者数：57名

2022年度
窓口相談件数：267件
移住者数：47名
お試し移住プログラム利用者数：27名



ワークキャンプ事業部

高校生や大学生が運営するボランティア合宿プログラム「ワークキャンプ」を企画する事業です。震災や水害などの被災地で約1週間行う「01（ゼロイチ）ワークキャンプ」と、地方のこども食堂や農業の現場で実施する2泊3日の「ちょいワークキャンプ」を展開しています。



●01ワークキャンプ 2024年度 参加者数：のべ24名